

執筆者紹介

つねき けんたろう 恒木健太郎 本学経済学部准教授
さだとう ひろこ 定藤 博子 鹿児島国際大学経済学部専任講師
まきの くにあき 牧野 邦昭 摂南大学経済学部准教授
いのうえ としかず 井上 寿一 学習院大学学長
すがわら ひかる 菅原 光 本学法学部教授

〈編集後記〉

今号の特集「リスク選択とデモクラシー」は、2019年6月に本研究所所員・恒木氏が主査となり企画開催された公開研究会「なぜ戦争は食い止められなかったのか」において行われた報告をもとに構成されている。

先の日米開戦に関して注目すべき近著を持つ牧野・井上両氏の執筆陣の主張と、定藤氏の提題論考ならびに本研究所所員・菅原氏の論考とが相俟って、近現代史における日米開戦研究の到達とその持つ意味が明らかにされており、読むものにとっては現代日本政治の諸状況を見る際にもなお通ずる豊かな示唆がもたらされるのではあるまいか。月報11月号をお届けする。

(T.K.)

2019年11月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 宮 寄 晃 臣

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561
